

令和3年4月19日

皆様へ

神戸市立西神戸医療センター
院長 京極 高久

新型コロナウイルス感染症新規感染者の急増に伴う

当面の診療体制について(お知らせ)

当院は、これまで新型コロナウイルス感染症対応における中核的医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者さんの入院を受け入れてまいりました。

このたび、新型コロナウイルス感染症の新規感染者の爆発的な増加とこれに伴う神戸医療圏における病床逼迫による危機的な状況を踏まえた神戸市からの強い要請により病棟運営及び看護体制を見直し、救急病棟を閉鎖しコロナ専用病棟とすることでコロナ受入病床を拡大いたします。これにより、救急医療を含む通常医療における入院・手術等について4割程度の制限をせざるを得ず、当面の間、当院の診療体制は下記の運用といたします。患者及び患者家族の皆様、地域医療機関の皆様には大変なご不便をおかけし申し訳ございませんが、何卒ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、一般の患者さんと新型コロナウイルス感染症患者さんの動線は分離しておりますので、安心して外来・入院診療を受けていただけます。

外来診療：これまでどおり

救急外来：かかりつけ患者さんの救急搬送受入れについては、できる限り受け入れてまいりますが、その他の救急搬送受入れは病床運営の都合により受け入れできない場合があることを予めご了承ください。

新規入院：新型コロナウイルス感染症の専用病床数を増床し、救急病棟を閉鎖したことにより、新規入院の受入れに時間がかかることがあります。

当院は、新型コロナウイルス感染症に対し、引き続き市民病院としての責務を果たすため職員一丸となって対応してまいります。今後とも皆様のあたたかいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上